

文教大学情報学部 社会調査 研究報告

飲食店利用の選択要因

2013年2月

情報学部 広報学科 3年

吉岡友里恵

目次

第 1 章	調査研究の概要	2
1 . 1	調査研究の目的と背景	2
1 . 2	調査に関する状況	2
1 . 3	調査研究の方法	4
1 . 4	成果の概要	6
第 2 章	調査研究の成果	8
2 . 1	調査対象者の概要	8
2 . 2	各飲食店の利用状況	9
2 . 3	飲食店利用の性差	16
2 . 4	飲食店を左右するその他の要因	17
第 3 章	まとめと今後の課題	22
参考文献		23
単純集計結果		24

第1章 調査研究の概要

1.1 調査研究の目的と背景

大学生になると、高校のときのように、毎日朝から夕方までびっしり授業が入っていることはなく、自分の気分や都合に合わせて生活する人が多いと思われる。そして、家族と一緒に家で夕食を食べるだけでなく、部活・サークルの友達とも夕食に出かけることが多いであろう。そして一人暮らしをしている人も多く、実際に大学生になり一人暮らしをしてから、「外で食べるが増えた」という話をよく聞く。外で夕食をとる人は、やはり一人暮らしをしている人に多いのだろうか。それともサークルや部活の関係でもあるのだろうか。このような生活形態や経済面などで、夕食の利用場所や用途は変わってくるであろう。

私は飲食店でアルバイトをしているのだが、夕食時に大学生がよく来店するのは事実である。アルバイト中に感じるのは、やはり友達同士の談話での利用が一番多いように感じる。大学生が食事をする上での店というのは、仲間との「コミュニケーションの場」ではないだろうか。また、食事をする上での相手というのも食事場所の選択の重要性が高いと思われる。大学生に限ったことではないかもしれないが、食事場所とコミュニケーションは何か関係があるのであろう。しかし外食をしてみると、ファミリーレストラン、ファストフード、定食屋……と、お店は様々にある。また状況によって行くお店も変わってくるかもしれない。そして食事をする仲間も、時と場合によっても変わってくるかもしれない。どんなときに、どのような目的で大学生は食事場所を選択しているのだろうか。また食事場所とコミュニケーションはどのような関係があるだろうか。

このようなことから大学生の食事場所の選択要因を調査したい。今回は食事の時間帯で一番飲食店を利用すると思われる夕食に視野を当て検証を行った。また大学生になってから生活形態や経済的な面が変わった人も多いと思うので、そのような生活状況も交えて調査を行った。

1.2 調査に関連する状況

(1) 大学生の外食の利用頻度(平成21年 内閣府 食育推進室調べ)

外食の頻度は、「外食しない、または週2回未満外食をする」者が約4割(39.2%)となっている一方、「毎日1回以上外食をする」、「毎日2回以上外食する」と「毎日1回以上2回未満外食をする」の計)者も約2割(19.9%)存在している。

(2) 消費者の利用動機

おおよその店は、その店構えや看板から、そば屋だとか寿司屋、あるいはハンバーガー店だとかイタリア料理店などということがわかる。あるいは、いざその店に入ろうかと思

うと、食事をしてどのくらいの支払いをすれば済みそうかの見当もある程度つく。また、一人でとにかく腹を満たしたい場合と、友達とゆっくり食事をしながら会話を楽しみたい場合とでは、当然選ぶ店も違って来る。

消費者の利用動機の例を簡単に挙げてみると、ファミリーレストランでは、「皆で楽しむ」、「美味しい食事」、「ゆっくりくつろげる」などである。ファストフードでは、「クイックサービス」、「安い」、「食べ方自在」などが挙げられる。

(『現代の外食産業』著：茂木信太郎 日経文庫)

(3) 外食への支出額、食費

外食産業統計資料(2009年)によると、外食への支出額が、職業や生活状況によって変わっていることがわかった。会社員、パート・アルバイト、学生の昼食代は500~699円、夕食代は1000~1499円であった。会社役員・自営業の昼食代は前者と同じだが、夕食代は1500~1999円であった。また、専業主婦の昼食代は1000~1499円、夕食代は1000~1499円であった。

「外食産業統計資料集 2009年版」より

(『図解雑学 外食業界のしくみ』著：斎藤訓之 ナツメ社)

(4) 変わる暮らしとニーズ

現代の消費者は、多忙を極めている。長期間の不況の中、さまざまな業種の多くの企業でサービス残業が常態化し、2004年の労働基準法改正では裁量労働制を導入できるケースが増えた。

そうした中、特に都市の单身者を中心に労働時間が増加し、“早朝から深夜まで働きづめ”という若者が増えている。それより上の世代でも忙しさは増している。共働きが一般化した上、子育てや介護にも時間をとられている。多忙な生活は、食の外部化を加速する。しかし、多く働いた分所得が増えているわけではなく、また将来に備えて貯蓄もするため、食費は限られる。そこで客数を伸ばしているのは、廉価でしかも短時間で食事を済ませられるコンビニやファストフードサービスなどである。この反動として、休日に食事を楽しもうとする動機は高まっている。しかし、平日の大半を職場で過ごしているため、外出せずに心身を休めたい気持ちも強い。しかも“たまには手作りで”とも考える。その結果、“内食のハレ化”という、今までは考えられなかった消費行動が起こってきた。

一方、そもそも外食にとくに楽しみを感じないという若者も増えている。これは文化的な事柄なので、理由を完全に説明することはできない。だが、子供の頃からファミリーレストランやファストフードサービスなどで外食に親しみ、外食があまりにも身近であったために、特別な価値を感じにくくなっているとも考えられる。

(5) 外食全般に関する実態調査(夕食を外で食べる理由)

ビストロメイトリサーチがおこなった外食全般に関する実態調査では、友人・同僚との付き合いが46.6%と約半分を占める結果となっており、夕食における飲食店とはコミュニケーションの場ともなっていることがうかがえる。次いで家庭では作れない物を食べたい15.5%、食事を作るのが面倒12.6%などの外食の良さといえる物も挙げられている。(ビストロメイトリサーチ 2005年8月調査)

1.3 調査研究の方法

(1) 進捗経緯

5月 調査テーマ討論

6月 調査テーマ具体化

7月～10月 授業内討論・調査テーマ決定・調査票作成

10月 最終討論・調査票完成

11月 学内での調査実施・回収、分析・単純集計結果報告

12月 報告書作成・提出

(2) 調査の概要

a. 調査の意図

b. 調査対象者

調査時期：2012年11月

調査対象者：文教大学湘南校舎の生徒

- ・新聞論(73枚)の受講生
- ・出版演習 A(37枚)の受講生

c. 調査方法

紙面によるアンケート調査

d. 主な質問事項、調査に向けた仮説

- ・各飲食店の利用度(1ヶ月間のうち)
- ・一番最近の飲食店利用度
- ・各飲食店の受け止め方
- ・何人で行くか
- ・誰と行くか
- ・部活・サークル所属の有無
- ・アルバイトの有無
- ・生活形態、状況

調査に向けた仮説

- ・大学生はファミリーレストランを利用する人が多い
ドリンクバーなどがあり、長居もしやすい
目的は友達との談話、コミュニケーションのため
- ・大人数の場合はファミリーレストランを利用する
- ・一人暮らしの人は外食が多い
特に男性は外食が多い
- ・部活などに所属していない人は所属している人ほど外食は少ない
- ・部活やサークルに所属している人は飲食店の利用率が高い
活動後に利用する
友達との友好を深めるために利用する
- ・友達と友好を深めるために外食をする人が多い
- ・アルバイトを長時間している人は金銭的な余裕があるため飲食店の利用率は高い
賄い料理や従食を利用する人も多い
なおかつ一人暮らしの人は外食が多い
- ・アルバイトをしていない人は外食が少ない
経済的な面で、この場合外食はしない
- ・一人で外食する場合にはハンバーガーショップが多い
クイックサービス・お手軽

e . 依頼数と回収数

依頼数：120 枚（新聞論：80 枚、出版演習 A：40 枚）

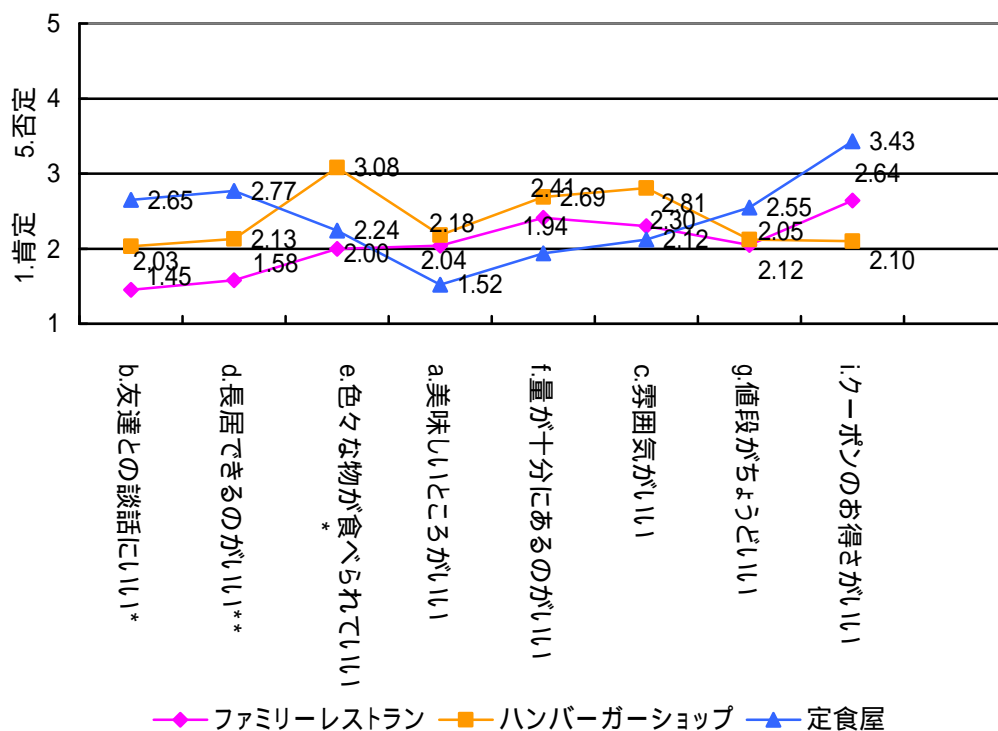
回収数：110 枚

1.4 成果の概要

(1) 主な成果

a. 飲食店に対する受け止め方

図1-4-1 飲食店に対する受け止め方



ファミリーレストランでは平均的に、他の2つの飲食店よりグラフが下側にあることが多く、利用上の様々な肯定感得ていることがわかった。特に「友達との談話にいい」、「長居できるのがいい」は高く評価されており、コミュニケーションの場としての利用が特に評価されているのが分かる。

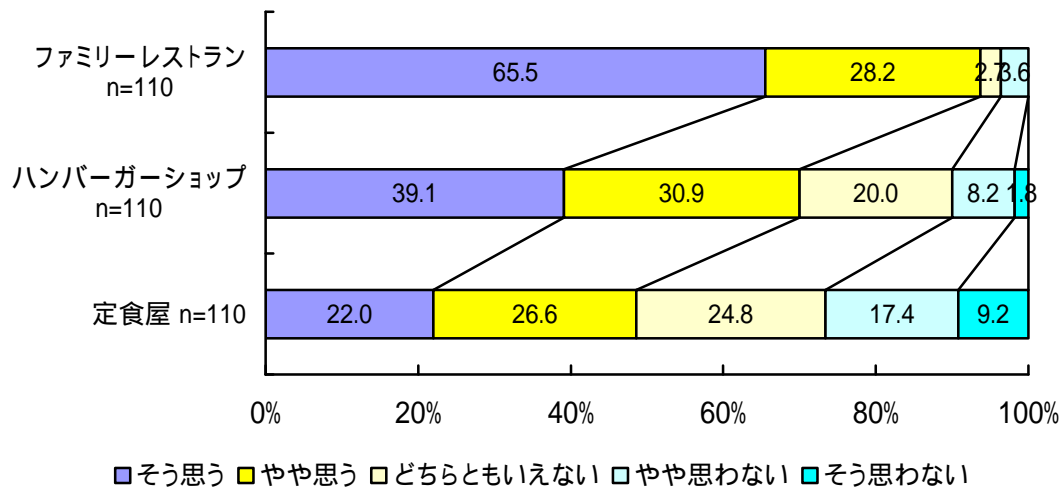
定食屋は、「美味しいところがいい」と「量が十分にあるのがいい」が上位にあり、食事そのものが魅力の源泉になっていることがわかる。

またハンバーガーショップは、「値段がちょうどいい」が評価されており、コスト負担がないことが最大の強みとなっている。

b. 飲食店の棲み分け状況

飲食店の受け止め方として「友人との談話によい」に着目して検証する。最も「友人との談話によい」と肯定感を持っている人が多かったのはファミリーレストランで、「そう思う」66%、「やや思う」28%であった。また「そう思わない」と答えた人はいなかった。

図1 - 4 - 2 飲食店への「友人との談話によい」の肯定感



ハンバーガーショップでは、「そう思う」39%、「やや思う」31%、「やや思わない」8.2%、「そう思わない」1.8%であり、友人との談話に適しているかどうかは様々な意見があるようだ。定食屋では、「そう思う」22%、「やや思う」27%、で肯定感は約半分ほどしかなかった。「やや思わない」17%、「そう思わない」9%であったので約3割の人は否定感を持っていた。

この結果では、ファミリーレストランは談話に良い傾向にあり、コミュニケーションをしやすい場であることが明らかとなった。対照的に定食屋では比較的談話には向かない傾向であることがわかった。

(2) その他の成果

- ・ハンバーガーショップへ行く相手は「一人」と答えた人が最も多く41%であった。他の2つの飲食店に比べ、圧倒的に「一人」で行く割合は高い。
- ・滞在時間では、ファミリーレストランでは「1時間以上」と答えた人が、75%であり、全体の約7割強を占めていた。ハンバーガーショップでは、「1時間以上」と答えた人はわずか24%であり、あまり長時間滞在する傾向はない。
- ・部活・サークル活動に所属している人は、全体の約8割強の人が日頃から部活・サークル仲間と一緒にいることがわかった。
- ・部活・サークル仲間の結びつきは強い。

第2章 調査研究の成果

2.1 調査回答者の概要

回答者はすべて文教大学湘南校舎情報学部生徒である。なお、回答標本は無作為抽出で作成はしていないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表2-1-1と表2-1-2で確認しておく。

表2-1-1の学年別の分布では、2年生が一番多く、次いで1年生、3年生であり、4年生は少ない。また表2-1-2の性別の分布では、女性の回答者が多くなっており、約6割強を占めている。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかしクロス集計やグループの平均などの層化を行った集計では、影響は限定されると考えられる。

表2-1-1 回答者と母集団の比較

	1年	2年	3年	4年	計
回答者	30.9 (34)	38.2 (42)	21.8 (24)	9.1 (10)	100.0 (110)
湘南校舎 情報学部学生	25.8 (515)	22.0 (440)	25.5 (509)	26.7 (534)	100.0 (1998)

(注) 母集団は情報学部2012.10末時点である。

表2-1-2 回答者と母集団の比較

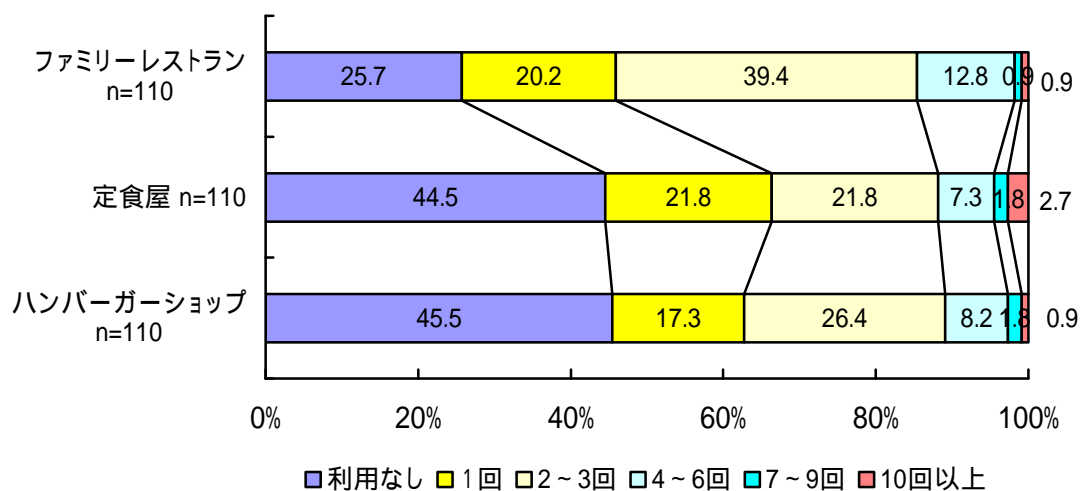
	男子	女子	無回答	計
回答者	34.5 (38)	64.5 (71)	0.9 (1)	100.0 (110)
湘南校舎 情報学部学生	66.1 (1321)	33.9 (677)	- (-)	100.0 (1998)

(注) 母集団は情報学部2012.10末時点である。

2.2 各飲食店の利用状況

(1) 過去1ヶ月の利用度

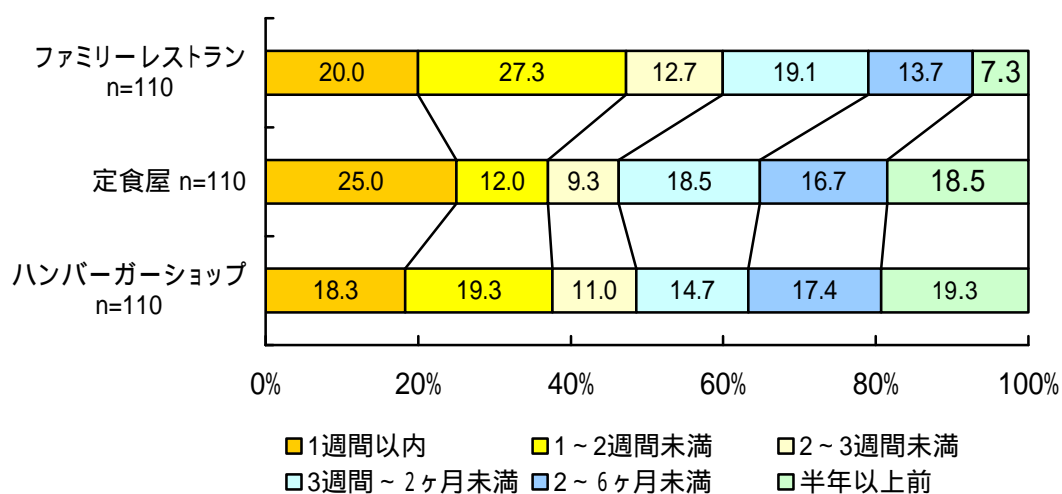
図2-2-1 過去1ヶ月間の飲食店利用度



まず、過去一ヶ月の間に各飲食店を利用しなかった人が意外にも多かった。なかでもハンバーガーショップと定食屋では、それぞれ45%ほどであり約半分弱の人が利用していなかった。全体的に「1回」と回答している人はどの飲食店でも大きな差は見られなかったが、ファミリーレストランの場合、2回以上利用している人が約半分を占め、他の2つの飲食店に比べて多い割合となった。また、平均で39%の人が飲食店を利用していないことがわかった。また、約5割の人が1~3回飲食店を利用していることがわかった。

(2) 最近の利用時期

図2-2-2 最近飲食店を利用した時期

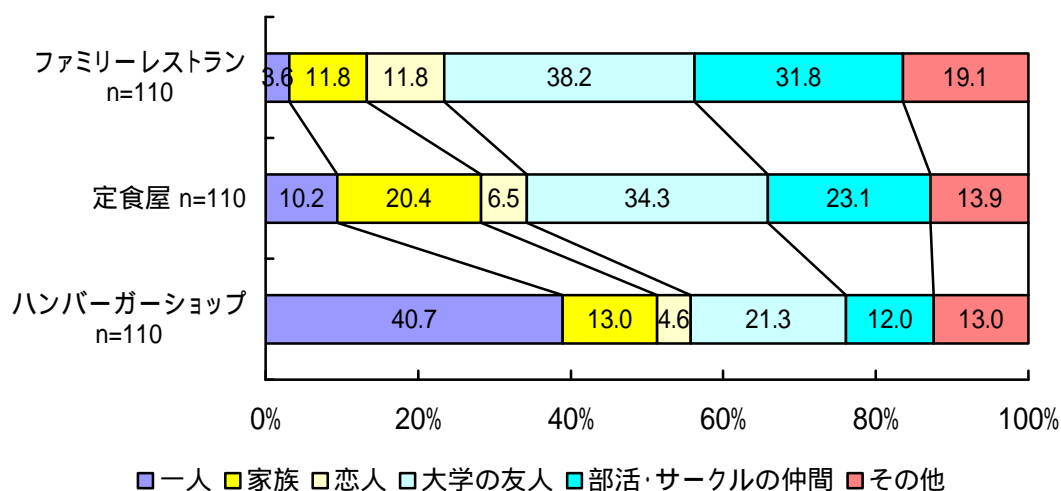


1週間以内に利用した人は各飲食店とも約2割ほどであり、ほぼ同じような割合であった。またどの時期でも各飲食店の利用度に大きな差はなかった。

対して、半年以上利用していない人が意外にもいることが明らかになった。なかでもハンバーガーショップに半年以上も利用していない人が19.3%もいることには意外であった。駅前などには必ずといっていいほど存在するハンバーガーショップでも利用度はファミリーレストランに劣る部分があるということが明らかになった。

(3) 一緒に行く相手

図2 - 2 - 3 飲食店に行く相手 (n=110)



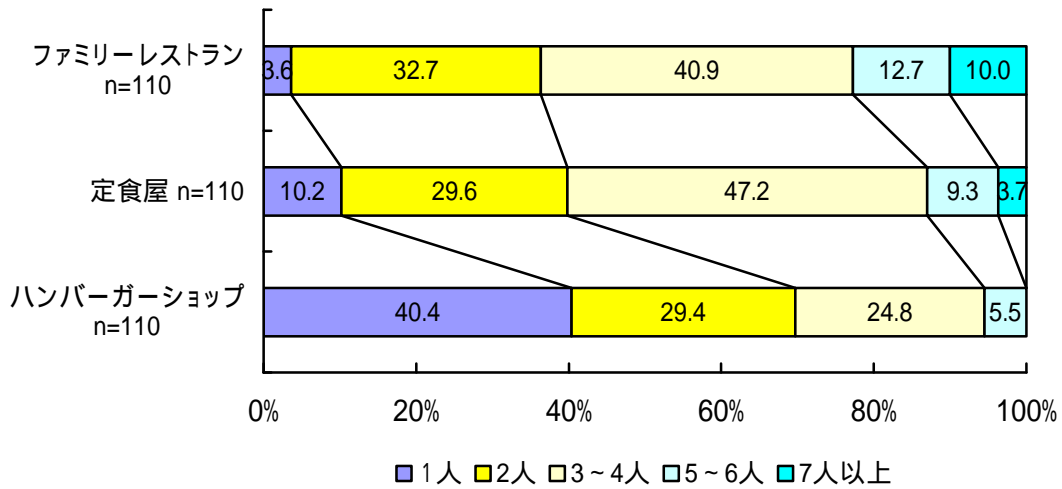
ファミリーレストランへ行く相手が多かったのは、「大学の友人」で38%、「部活・サークルの仲間」で32%であった。また、定食屋でも「大学の友人」は34%、「部活・サークルの仲間」は23%であった。次いで「家族」が20%であり、他の2つの飲食店に比べて定食屋は友人以外での利用は多いようである。

顕著なのはハンバーガーショップである。「一人」と答えた人が最も多く41%であった。他の2つの飲食店に比べ、圧倒的に「一人」で行く割合は高い。ハンバーガーショップはクイックサービスであるので、待ち時間も短いため一人でも行って利用しやすいのであろう。しかし、コミュニケーションの場としては、他の2つの飲食店に比べハンバーガーショップは劣っているともいえる。

(4) 利用人数

先ほどの図2 - 1でも述べたように、利用する人数としてもハンバーガーショップの「1人」は約40%と多くを占めており、同じことが言える。

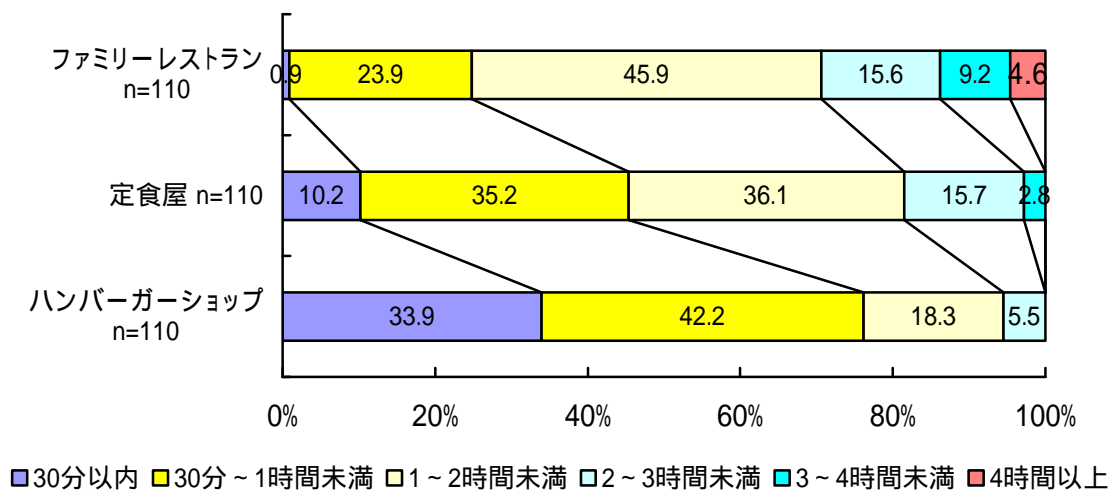
図2 - 2 - 4 飲食店に行く人数 (n=110)



「3~4人」と答えた人は、全体的に多く見られ、ファミリーレストランで41%、定食屋で47%である。どの飲食店も二番目に多かったのは「2人」であり、それぞれ全体の約3割を占めた結果となった。結果として、5人以上で食事をすることはあまり多くないようだ。また5人以上で行く場合は、ファミリーレストランを利用する傾向がある。平均で16%しか5人以上で利用していないので、飲食店を利用する際は4人までが多いということがわかった。

(5) 滞在時間

図2 - 2 - 5 飲食店での滞在時間 (n=110)



各飲食店の滞在時間を「1時間以上」と「1時間未満」に2区分して検証を行った。ファミリーレストランでは「1時間以上」と答えた人が、75%であり、全体の約7割強を占めていた。定食屋では「1時間以上」が55%、「1時間未満」が45%と、滞在時間に関してはほぼ半分ずつの割合の結果となった。ハンバーガーショップでは、「1時間以上」と答えた人はわずか24%であり、あまり長時間滞在する傾向はない。

(6) 食事代

図2-2-6 飲食店での食事代

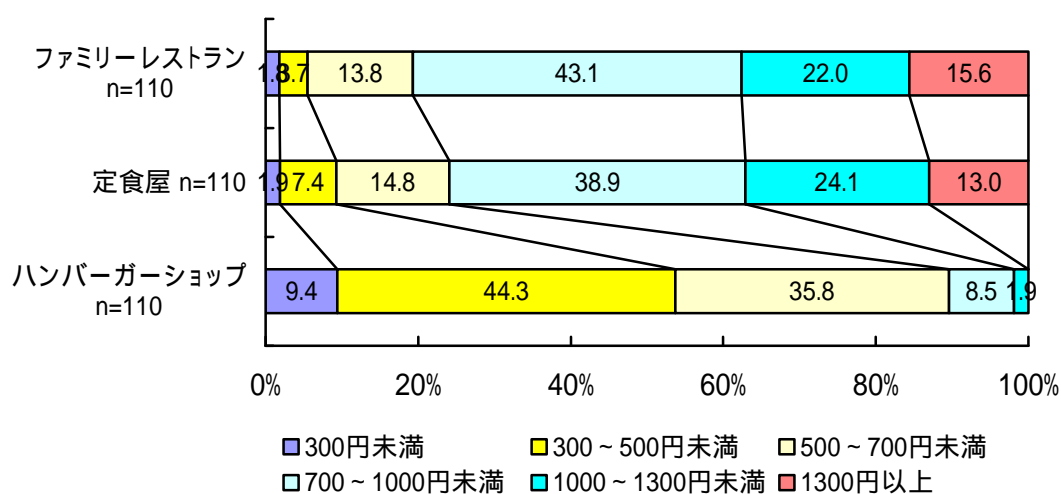
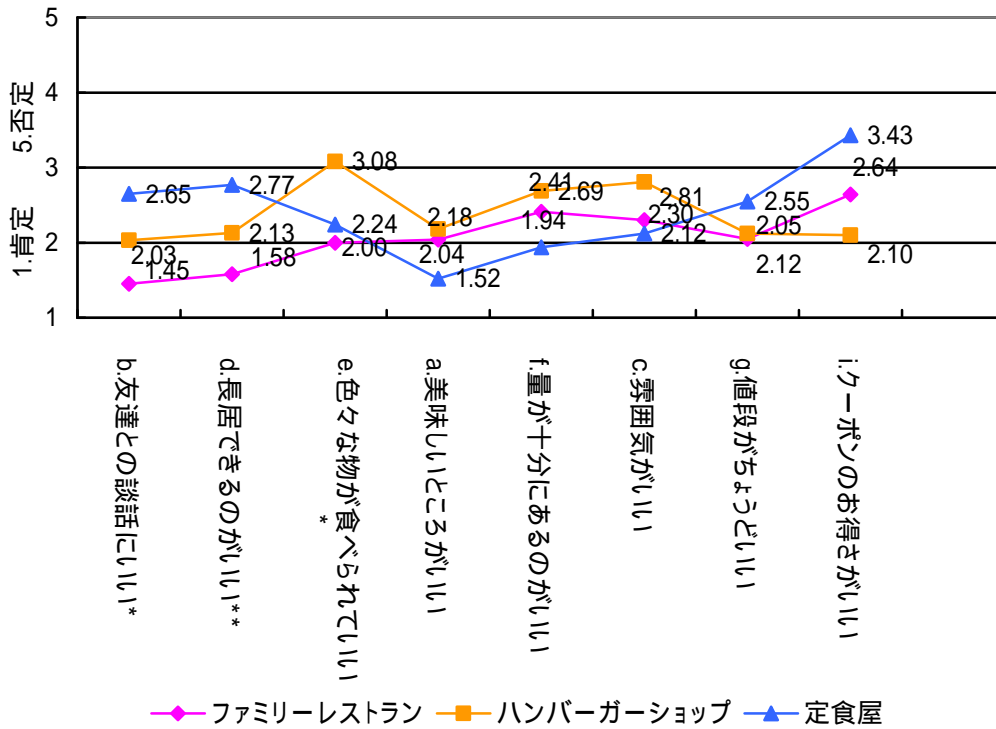


図2-2-5を見ると、ファミリーレストランと定食屋は似たような傾向にあることがわかる。ファミリーレストランと定食屋で多くの割合を占めていたのは、「700~1000円未満」であり、それぞれ43%と39%であった。次いで、「1000~1300円未満」が多く、ファミリーレストランと定食屋では約6割の人が700円から1300円の間で食事をしていくことがわかった。対してハンバーガーショップでは44%の人が「300~500円未満」と答えており、次いで「500~700円未満」が36%であった。また、ファミリーレストランと定食屋では、「1300円以上」と答えた人が約1割ほどいたにもかかわらず、ハンバーガーショップでは一人もいなかった。

最近ファミリーレストランも比較的安価に抑えられるようにはなっているが、ハンバーガーショップのほうが明らかに安く抑えられていることがわかる。これはもともとハンバーガーショップが非常に安価ということもあるので、利用者もハンバーガーショップでは「安く抑えよう」という意識もあるのであろう。

(7) 飲食店に対する受け止め方

図2-2-7 飲食店に対する受け止め方



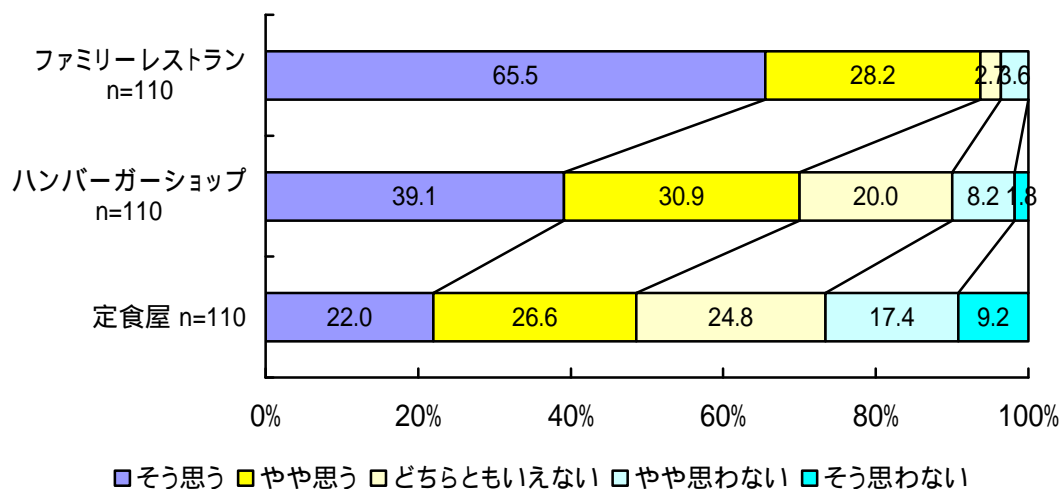
ファミリーレストランでは平均的に、他の2つの飲食店よりグラフが下側にあることが多く、利用上の様々な肯定感得ていることがわかった。「美味しいところがいい」は、各飲食店とも上位にあり、代表的な利用感であることがわかり、特に「美味しいところがいい」と「量が十分にあるのがいい」は、定食屋の強みであることがわかる。

また、「色々な物が食べられていい」ではファミリーレストランと定食屋に対し、ハンバーガーショップは肯定感を得ている人は少なかった。

「友達との談話にいい」と「長居できるのがいい」という受け止め方に対し、強く肯定感を得ているのはファミリーレストランであり、この二つが強みになっている。したがってファミリーレストランが最もコミュニケーションをとる場としては適していることを明らかにできるだろう。

(8) 飲食店の棲み分け状況

図2 - 2 - 8 飲食店への「友人との談話によい」の肯定感



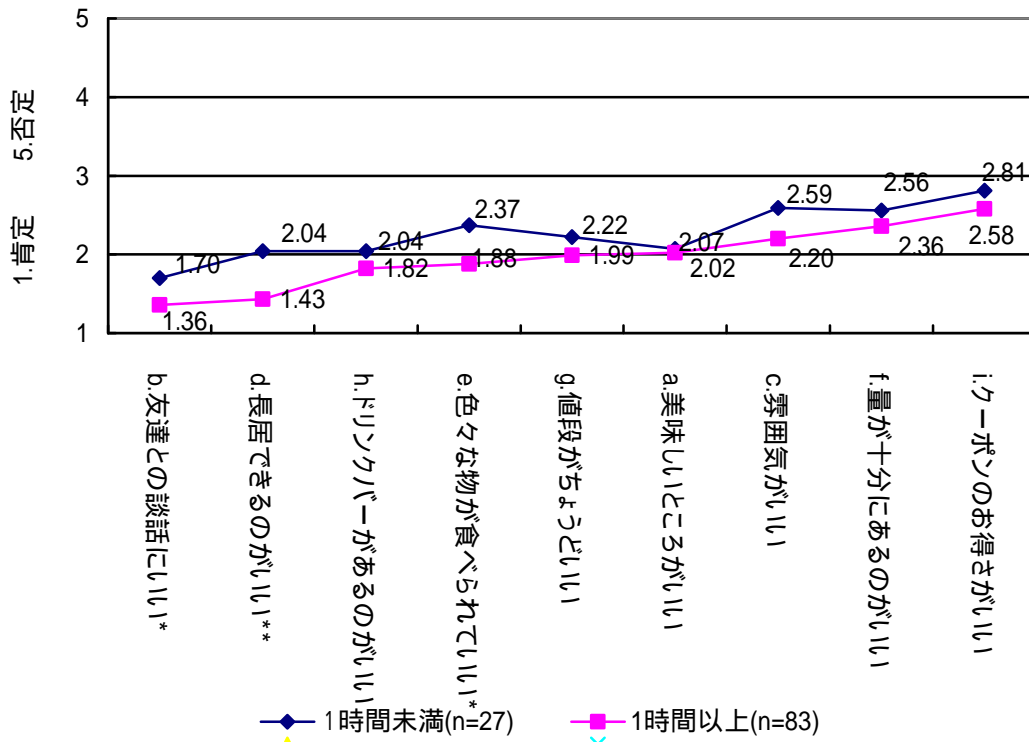
飲食店の受け止め方として「友人との談話によい」に着目して検証する。最も「友人との談話によい」と肯定感を持っている人が多かったのはファミリーレストランで、「そう思う」66%、「やや思う」28%であった。また「そう思わない」と答えた人はいなかった。

ハンバーガーショップでは、「そう思う」39%、「やや思う」31%、「やや思わない」8.2%、「そう思わない」1.8%であり、友人との談話に適しているかどうかは様々な意見があるようだ。定食屋では、「そう思う」22%、「やや思う」27%、で肯定感は約半分ほどしかなかった。「やや思わない」17%、「そう思わない」9%であったので約3割の人は否定感を持っていた。

この結果では、ファミリーレストランは談話に良い傾向にあり、コミュニケーションをしやすい場であることが明らかとなった。対照的に定食屋では比較的談話には向かない傾向であることがわかった。

また、2 - 2の(5)に関して、これらの結果は各飲食店の受け止め方によって、滞在時間も変わってくるのであろう。図2 - 2 - 5で顕著である、ファミリーレストランの滞在時間に着目して、受け止め方との関係を検証した。

図2 - 2 - 9 ファミリーレストランの受け止め方と滞在時間



全般には、滞在時間が長い（1時間以上）グループは、短い（1時間未満）グループよりも下側にあり、利用上の様々な肯定感を得ている。

「b.友達との談話にいい」、「d.長居できるのがいい」、「h.ドリンクバーがあるのがいい」は両グループとも上位にあり、代表的な利用感である。また、滞在時間の短いグループは、「2.ややそう思う」より少し強い側との分布である。

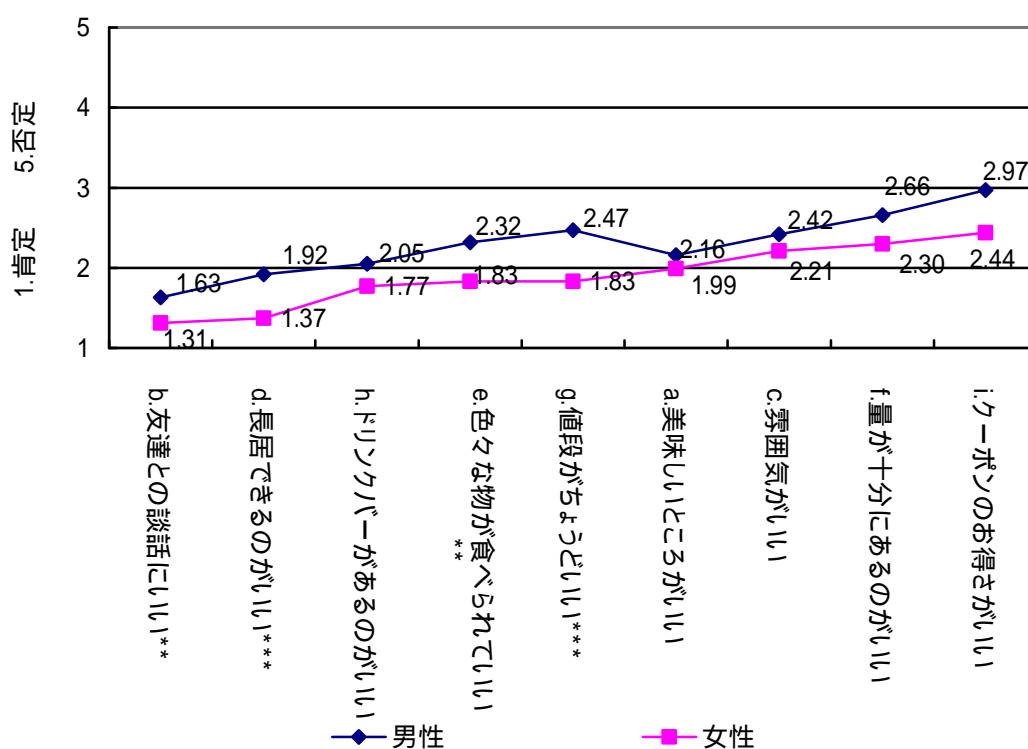
両グループで最も差が顕著なのは、「d.長居できるのがいい」で、滞在時間が長いグループではかなり肯定的であるといえる。滞在時間の短いグループも肯定感が少ないわけではないが、滞在時間が長い人ほど、長居できると実感を持っている人が多いことがわかる。

「a.美味しいところがいい」は、両グループ間でほとんど差がない。この利用感が滞在時間の長さを規定する可能性は小さいと考えられる。

2.3 飲食店利用の性差

2.2では、各飲食店の利用感などを述べてきたが、ここでは男女差に注目して、飲食店の利用について述べていきたい。2.2の(8)飲食店の棲み分け状況でも示したように、ファミリーレストランには他の2つの飲食店とは違った利用感があるようだ。ここでもファミリーレストランの受け止め方に注目して分析をおこなった。

図2-3-1 ファミリーレストランの受け止め方の性差



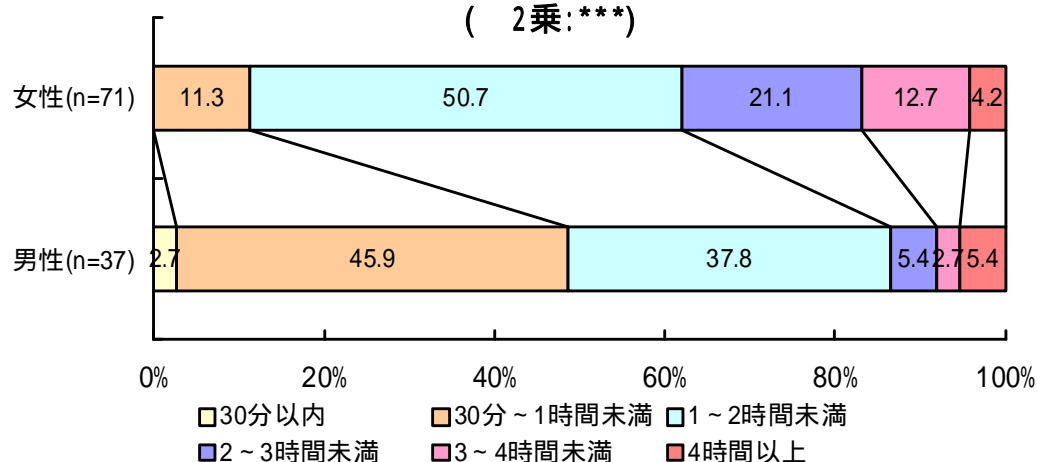
全般に、女性は男性よりも利用上の様々な肯定感を得ていることがわかる。

両グループで最も差が顕著なのは、「d.長居できるのがいい」で、女性はかなり肯定的であるといえる。

「a.美味しいところがいい」は、両グループ間でほとんど差がない。この利用感が男女差を規定する可能性は小さいと考えられる。

「長居できる」という受け止め方が女性に肯定的であることに関連して、滞在時間と性差について分析をおこなった。こちらもファミリーレストランに注目して分析した。

図 2 - 3 - 2 ファミリーレストランの滞在時間と性差
(2乗:***)



半分以上の女性が1~2時間は滞在していることがわかった。また、2~4時間未満滞在する人も多く、約3割を占めており、比較的長時間滞在することが明らかになった。

また男性で半分以上を占めているのは30分~1時間未満であり、長くても2時間くらいしか滞在しない傾向にあった。

この滞在時間と性差は顕著な差がみられた分析であった。

2.4 飲食店利用を左右するその他の要因

ここまで飲食店の利用実態や、生活状況との関連性について述べてきて、2.2では、各飲食店によって利用度や受け止め方は様々であることが明らかになった。しかし、利用度や受け止め方だけでは飲食店の選択要因は明確には表れないので、生活状況も合わせて検証することにした。

(1) 部活・サークル活動の所属と飲食店利用

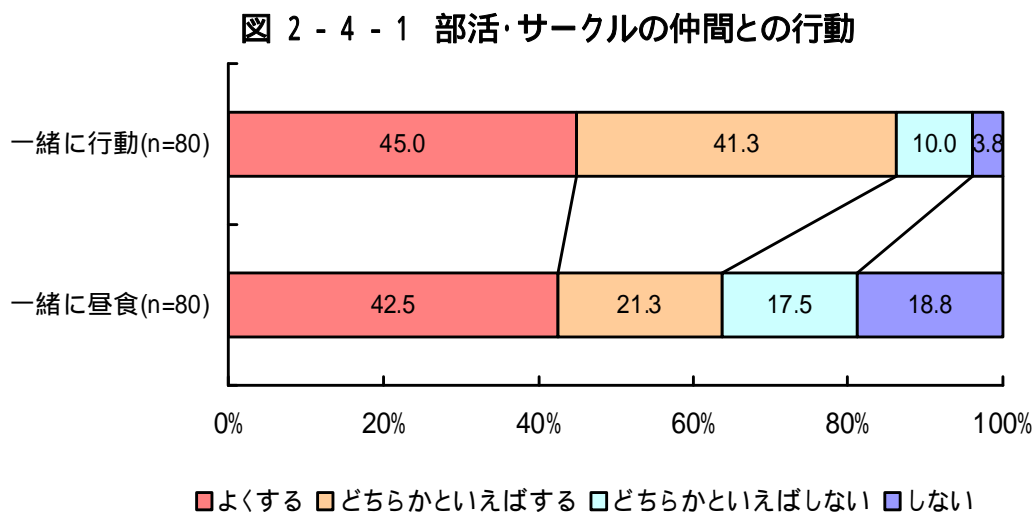
飲食店に行くときには誰と行くことが多いのだろうか。図2-2-1で示したように各飲食店とも「大学の友人」が上位であったが、次いで多かったのが「部活・サークル仲間」であった。ファミリーレストランでは32%、ハンバーガーショップでは12%、定食屋では23.1%の人が飲食店に行くときの相手は「部活・サークル仲間」であった。

部活・サークル仲間とは、日頃から共に活動し、休日まで活動している人々が多いのではないだろうか。その結びつきはとても強いと考える。結びつきが強いのであれば、飲食店利用との関連も大きなものになっていくのではないかと考えた。

部活・サークル活動の参加率を調べたところ、人数としては80名が所属しているの

そのなかで仲間との行動について検証をした。

a. 部活・サークル仲間との行動



部活・サークル活動に所属している人は 110 名中 80 名であった。このなかで、日頃から「1.よく一緒にいる」と答えた人は 45%、「2.どちらかといえば一緒にいる」と答えた人は 41%であり、全体の約 8 割強の人が部活・サークル仲間とよく行動することがわかった。否定層はわずかに 14%ほどであった。

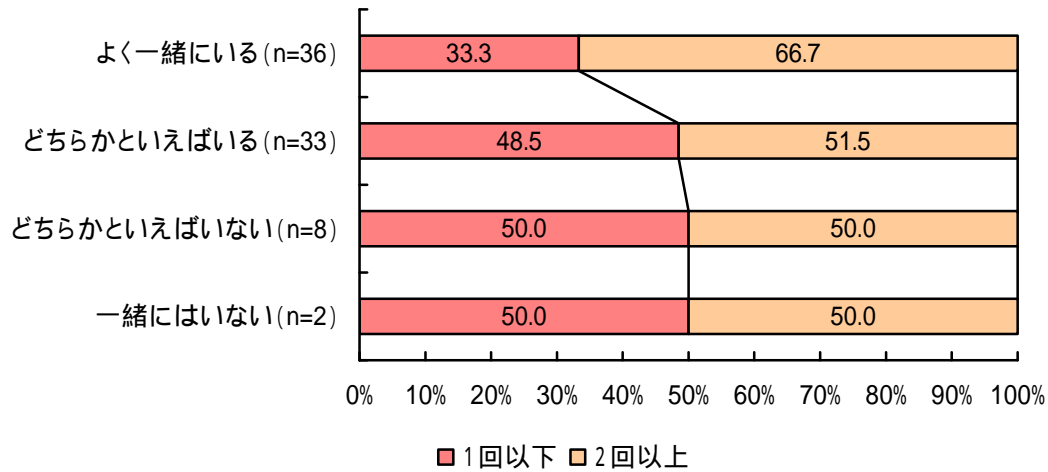
また、部活・サークル仲間と一緒に昼食をとるのかという質問では、「1.よくそうする」と答えた人は 42%、「2.どちらかといえばそうする」と答えた人は 21%であり、こちらも肯定感を持っている人が多く、約 6 割の人は肯定層であった。「3.どちらかといえばそうしない」、「4.そうしない」と答えた人はそれぞれ 18%、19%であり、約 37%が否定層であった。

これらの結果を見ると、やはり部活・サークル仲間の結びつきは強いと考えられる。

b. 部活・サークル仲間との行動と飲食店利用

ここではファミリーレストランとハンバーガーショップについて比較をする。定食屋についてファミリーレストランと似た傾向にあるのでここでは割愛させていただく。

図2 - 4 - 2 ファミリーレストラン利用と活動仲間との行動

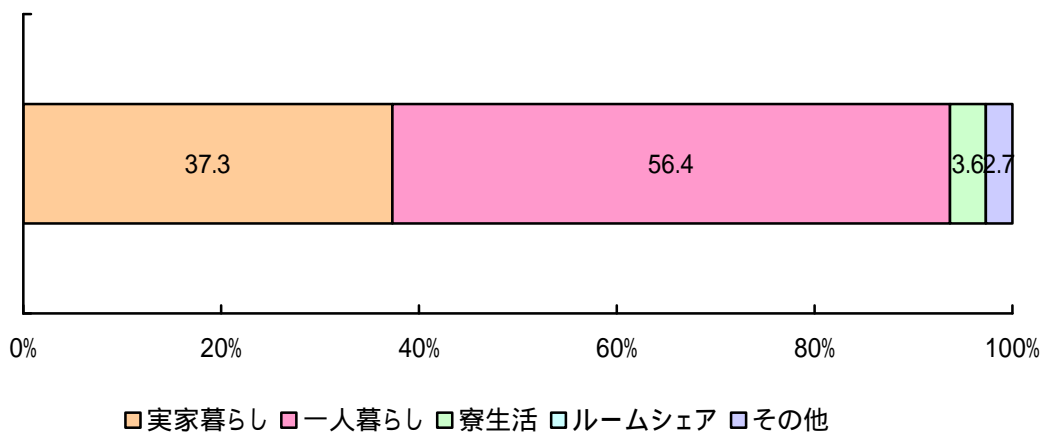


日頃から部活・サークル仲間と「よく一緒にいる」と答えた層では、過去1ヶ月にファミリーレストランを「2回以上」利用している人は67%であり、ファミリーレストランでは結びつきが強いほど、行く回数も増えるということが明らかになった。

ハンバーガーショップと定食屋ではどちらの利用グループでも、活動仲間との行動との関連で大きな差は見られなかった。

(2) 世帯状況と飲食店利用

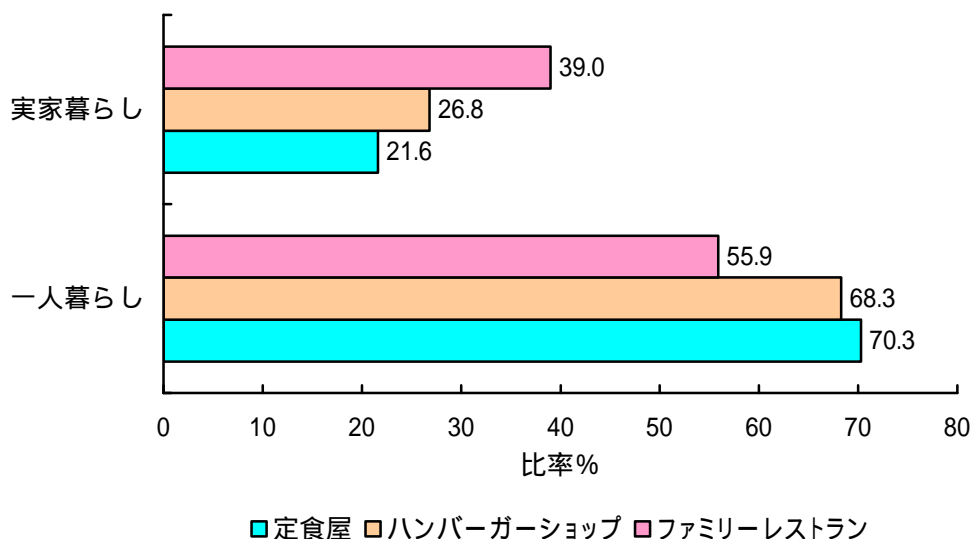
図2 - 4 - 3 世帯状況(n=110)



世帯状況は図2 - 3 - 5の通りである。5割強が一人暮らしである。

その世帯状況と過去1ヶ月間の利用率の関連を調べた。そのうち各飲食店を2回以上利用した割合を図2-3-6に示した。

図2-4-4 2回以上利用者(一カ月間)



一人暮らしの人は外食が多いと推測していたが、確かに一か月に2回以上飲食店を利用している人は各飲食店とも半分以上の割合を占めていた。そして一人暮らしの人は極めて安価のハンバーガーショップを利用する人が多いとも推測していたが、68.3%であり、定食屋の70.3%より下回った結果になった。

対して実家暮らしの人はあまり飲食店を利用する人は少ないことが明らかになった。

(3) アルバイトの有無と飲食店利用

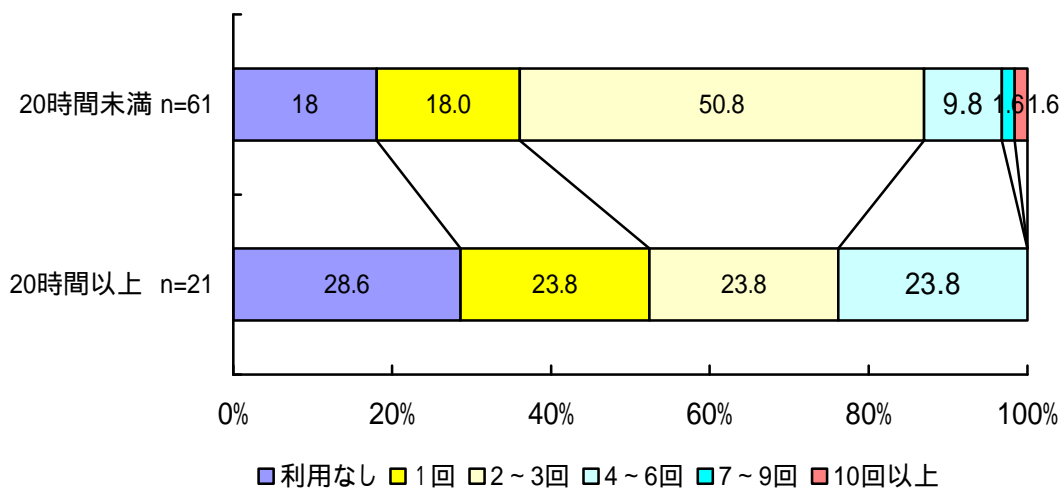
飲食店の利用度はアルバイトをしているかどうかでも変わってくるであろう。実際、大学生になって一人暮らしを始めたなどの理由から経済面を考え、アルバイトをしている学生は多いだろう。長時間働いている人や深夜にアルバイトをしている人、またお金を稼ぐとともに賄い付きを目的に働いている人など、様々な方法や目的でアルバイトをしている。

その中でも勤務時間と飲食店利用の関連を調べることにした。週の勤務時間は「15～20時間未満」と答えた人が最も多く、35%であった。次いで多かったのは「10時間未満」と答えた人で24%であった。逆に長時間である「30時間以上」と答えた人はわずか7.3%であった。意外にも長時間働いている人はあまりいないという結果になり、主に10～20時間の間で働く人が多いことが明らかになった。

アルバイトをしている人は勤務時間の関係から飲食店の利用度は変わってくるのである

うか。図の2 - 3 - 2 にその結果を示した。

図2 - 4 - 5 勤務時間とファミリーレストラン利用



勤務時間の長いグループ(20時間以上)と短いグループ(20時間未満)を2区分して、飲食店利用との関連性を検証した。

まず、ハンバーガーショップと定食屋では勤務時間と行く回数に大きな関連は見られなかった。ここではファミリーレストラン利用について述べる。

勤務時間の短いグループで「2~3回」と答えた人は51%であった。勤務時間の長いグループも「2~3回」、「4~6回」合わせて半分を占めていたので、利用回数としての差はそこまで大きくはなかった。しかし、勤務時間の長いグループは「1回」が24%、「利用なし」が29%であり、合わせて約53%の人が利用回数が少ないことが明らかになった。長時間勤務している人は金銭的な余裕があるため飲食店の利用率は高いと推測していたが、勤務時間と利用率は関連性が高いとは一概には言えなそうである。

第3章 まとめと今後の課題

3.1 研究のまとめ

まず、飲食店に行く相手としては大学の友人、部活・サークルの仲間であった。また、部活・サークル仲間と一緒に行動する人は約8割を占め、昼食を一緒に食べる人も6割ほどおり、やはり部活・サークルでの結びつきは強いことが明らかになった。定食屋だけは他の2つの飲食店に比べて友人以外での利用は多いということがわかった。そして行く人数としては、「3~4人」がどの飲食店でも多かった。行く人数で顕著なのはハンバーガーショップであり、「一人」と答えた約4割を占めており、他の2つの飲食店よりも圧倒的に「一人」で行く割合は高かった。

次に、滞在時間としてはファミリーレストランと定食屋では1時間以上滞在する人は半分を超えていたが、一方ハンバーガーショップでは、「1時間以上」と答えた人はわずか2割ほどであり、あまり長時間滞在する傾向にはなかった。

行く相手・人数、滞在時間を平均的に見ると、コミュニケーションの場としては、ファミリーレストランが最も適していることが明らかになった。

また、コミュニケーションという点に関して、「友人との談話によい」という飲食店の受け止め方に着目して検証したところ、ファミリーレストランでは約8割強の人が肯定感を持っていた。ハンバーガーショップでは約6割、定食屋では約4割の人が肯定層であった。

この結果でも同様に、ファミリーレストランは談話に良い傾向にあり、コミュニケーションをしやすい場であることが明らかとなった。

全体的にファミリーレストランはコミュニケーションの場として適している傾向があり、食事をする上での相手は、部活・サークル仲間や大学の友人など身近な存在との結びつきが強いことがわかった。このことから食事をする上での相手というのも食事場所の選択の重要性が高いということが明らかになった。

3.2 反省点と今後の課題

今回の反省点は、全体的に設問の数が少し多く、5段階評価の設問も何度かあり、回答者に対して最善の調査方法になっていなかったのではないかと感じた。また、仮説に対しての確証を得られる設問を上手に作ることができず、集計のときにあまりよい結果が得られない質問もあった。そして、現在の外食産業は多様化しており、飲食店の区分が難しく、「定食屋」といっても様々な種類のお店があるので、もう少し考えるべきところがあった。

今後の課題としては、調査目的や調査票内容の検討を徹底し、次回は確証を得ることができる仮説・設問の作り方を工夫していきたいと思う。

参考文献

- ・『業界の最新常識 よくわかる外食産業』著：国友隆一（日本実業出版社）
- ・『現代の外食産業』著：茂木信太郎（日経文庫）
- ・『消費者の外食行動』財団法人 外食産業総合調査研究センター
- ・『図解雑学 外食業界のしくみ』著：斎藤訓之（ナツメ社）
- ・大学・大学生研究所 『大学生と食』
<https://sites.google.com/site/daigakulabo/data/shoku/daigakusei-no-shokuhi>
- ・ビストロメイトリサーチ
<http://www.bistromate.com/asp-bm/research/2005091/Q1/>

夕食に関する調査

情報学部広報学科3年 吉岡友里恵

「社会調査」の授業のための調査です。無記名ですので率直にお答えください。

<ファミリーレストランについてお聞きします>

問1. あなたはここ1か月のうち何回くらいファミリーレストランで夕食をとりましたか。(1つに)n=110

1. 1回	20.0	2. 2~3回	39.1	3. 4~6回	12.7	4. 7~9回	0.9	5. 10回以上	0.9	6. 利用なし	25.5	無	0.9
-------	------	---------	------	---------	------	---------	-----	----------	-----	---------	------	---	-----

問2. 一番最近ファミリーレストランで夕食をとったのはいつ頃でしたか。(1つに)n=110

1. 1週間以内	20.0	2. 1~2週間未満	27.3	3. 2~3週間未満	12.7	4. 3~4週間未満	6.4
5. 1~2ヶ月未満	12.7	6. 2~4ヶ月未満	8.2	7. 4~6ヶ月未満	5.5	8. 半年以上前	7.3

問3. そのときは誰と一緒にでしたか。(当てはまるすべてに)n=110

1. 一人	3.6	2. 家族	11.8	3. 恋人	11.8	4. 大学の友人	38.2	5. 部活・サークルの仲間	31.8	6. その他	19.1
-------	-----	-------	------	-------	------	----------	------	---------------	------	--------	------

問4. そのときは何人くらいでしたか。(1つに)n=110

1. 1人	3.6	2. 2人	32.7	3. 3~4人	40.9	4. 5~6人	12.7	5. 7人以上	10.0
-------	-----	-------	------	---------	------	---------	------	---------	------

問5. そのときの滞在時間はどのくらいですか。(1つに)n=110

1. 30分以内	0.9	2. 30分~1時間未満	23.6	3. 1~2時間未満	45.5		
4. 2~3時間未満	15.5	5. 3~4時間未満	9.1	6. 4時間以上	4.5	無回答	0.9

問6. そのときの食事代はどのくらいですか。(1つに)n=110

1. 300円未満	1.8	2. 300~500円未満	3.6	3. 500~700円未満	13.6		
4. 700円~1000円未満	42.7	5. 1000~1300円未満	21.8	6. 1300円以上	15.5	無回答	0.9

問7. ファミリーレストランについての受けとめ方をお答えください。(項目ごと1つに)n=110

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	やや 思わない	そう 思わない
a. 美味しいところがいい	32.7	37.3	24.5	4.5	0.9
b. 友達との談話によい	65.5	28.2	2.7	3.6	0.0
c. 雰囲気がいい	23.6	37.3	27.3	9.1	2.7
d. 長居できるのがいい	59.1	28.2	9.1	2.7	0.9
e. 色々な物が食べられるのがいい	37.3	35.5	19.1	6.4	1.8
f. 量が十分にあるのがいい	22.7	34.5	24.5	15.5	2.7
g. 値段がちょうどいい	32.7	39.1	20.9	5.5	1.8
h. ドリンクバーがあるのがいい	48.2	27.3	14.5	9.1	0.9
i. クーポンのお得さがいい	23.6	19.1	35.5	13.6	8.2

<ハンバーガーショップについてお聞きします>

問8. あなたはここ1か月のうち何回くらいハンバーガーショップで夕食をとりましたか(1つに) n=110

1. 1回 17.3 2. 2~3回 26.4 3. 4~6回 8.2 4. 7~9回 1.8 5. 10回以上 0.9 6. 利用なし 45.5

問9. 一番最近ハンバーガーショップで夕食をとったのはいつ頃でしたか。(1つに) n=110

1. 1週間以内 18.2 2. 1~2週間未満 19.1 3. 2~3週間未満 10.9 4. 3~4週間未満 5.5
5. 1~2ヶ月未満 9.1 6. 2~4ヶ月未満 12.7 7. 4~6ヶ月未満 4.5 8. 半年以上前 19.1 無回答 0.9

問10. そのときは誰と一緒にでしたか。(当てはまるすべてに) n=110

1. 一人 40.0 2. 家族 12.7 3. 恋人 4.5 4. 大学の友人 20.9
5. 部活・サークルの仲間 11.8 6. その他 12.7 無回答 1.8

問11. そのときは何人くらいでしたか。(1つに) n=110

1. 1人 40.0 2. 2人 29.1 3. 3~4人 24.5 4. 5~6人 5.5 5. 7人以上 0.0 無回答 0.9

問12. そのときの滞在時間はどのくらいですか。(1つに) n=110

1. 30分以内 33.6 2. 30分~1時間未満 41.8 3. 1~2時間未満 18.2
4. 2~3時間未満 5.5 5. 3~4時間未満 0.0 6. 4時間以上 0.0 無回答 0.9

問13. そのときの食事代はどのくらいですか。(1つに) n=110

1. 300円未満 9.1 2. 300~500円未満 42.7 3. 500~700円未満 34.5
4. 700円~1000円未満 8.2 5. 1000~1300円未満 1.8 6. 1300円以上 0.0 無回答 3.6

問14. ハンバーガーショップについての受けとめ方をお答えください。(項目ごと1つに) n=110

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いけない	やや 思わない	そう 思わない
a. 美味しいところがいい	27.3	40.4	22.7	7.3	2.7
b. 友達との談話によい	39.1	30.9	20.0	8.2	1.8
c. 雰囲気がいい	16.4	14.5	45.5	19.1	4.5
d. 長居できるのがいい	36.4	33.6	13.6	13.6	2.7
e. 色々な物が食べられるのがいい	14.5	10.0	38.2	27.3	10.0
f. 量が十分にあるのがいい	15.5	26.4	37.3	15.5	5.5
g. 値段がちょうどいい	33.6	36.4	19.1	6.4	4.5
h. クーポンのお得さがいい	33.6	34.5	22.7	6.4	2.7

<定食屋(チェーン店・個人営業店含む)についてお聞きします>

問15. あなたはここ1か月のうち何回くらい定食屋で夕食をとりましたか。(1つに) n=110

1. 1回 21.8 2. 2~3回 21.8 3. 4~6回 7.3 4. 7~9回 1.8 5. 10回以上 2.7 6. 利用なし 44.5

問16．一番最近定食屋で夕食をとったのはいつ頃でしたか。(1つに) n=110

1. 1週間以内 24.5	2. 1~2週間未満 11.8	3. 2~3週間未満 9.1	4. 3~4週間未満 7.3
5. 1~2ヶ月未満 10.9	6. 2~4ヶ月未満 12.7	7. 4~6ヶ月未満 3.6	8. 半年以上前 18.2 無回答 1.8

問17．そのときは誰と一緒にでしたか。(当てはまるすべてに) n=110

1. 一人 10.0	2. 家族 20.0	3. 恋人 6.4	4. 大学の友人 33.6
5. 部活・サークルの仲間 22.7	6. その他 13.6	無回答 1.8	

問18．そのときは何人くらいでしたか。(1つに) n=110

1. 1人 10.0	2. 2人 29.1	3. 3~4人 46.4	4. 5~6人 9.1	5. 7人以上 3.6	無回答 1.8
------------	------------	--------------	-------------	-------------	---------

問19．そのときの滞在時間はどのくらいですか。(1つに) n=110

1. 30分以内 10.0	2. 30分~1時間未満 34.5	3. 1~2時間未満 35.5
4. 2~3時間未満 15.5	5. 3~4時間未満 2.7	6. 4時間以上 0.0 無回答 1.8

問20．そのときの食事代はどのくらいですか。(1つに) n=110

1. 300円未満 1.8	2. 300~500円未満 7.3	3. 500~700円未満 14.5
4. 700円~1000円未満 38.2	5. 1000~1300円未満 23.6	6. 1300円以上 12.7 無回答 1.8

問21．定食屋についての受けとめ方をお答えください。(項目ごと1つに) n=110

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	やや 思わない	そう 思わない	無回答
a. 美味しいところがいい	57.3	33.6	7.3	0.0	0.9	0.9
b. 友達との談話によい	21.8	26.4	24.5	17.3	9.1	0.9
c. 雰囲気がいい	30.9	36.4	22.7	7.3	1.8	0.9
d. 長居できるのがいい	16.4	20.9	34.5	23.6	3.6	0.9
e. 色々な物が食べられるのがいい	23.6	40.0	25.5	8.2	1.8	0.9
f. 量が十分にあるのがいい	29.1	48.2	18.2	2.7	0.0	1.8
g. 値段がちょうどいい	20.0	23.6	38.2	15.5	1.8	0.9
h. ドリンクバーがあるのがいい	9.1	8.2	32.7	18.2	30.9	0.9
i. クーポンのお得さがいい	10.0	9.1	33.6	20.0	25.5	1.8

<あなた自身についてお聞きします>

問22．アルバイトをしていますか。(1つに) n=110

1. している 74.5	2. していない 問25へ 25.5
--------------	--------------------

問23．アルバイトで賄い料理や従食を利用して夕食をとることはありますか。(1つに) n=82

1. よくある 26.8	2. 時々ある 15.9	3. あまりない 6.1	2. まったくない 51.2
--------------	--------------	--------------	----------------

問24. 週の勤務時間はどのくらいですか。(1つに) n=82

1. 10時間未満 24.4	2. 10~15時間未満 14.6	3. 15~20時間未満 35.4
4. 20~25時間未満 15.9	5. 25~30時間未満 2.4	6. 30時間以上 7.3

問25. 毎月の自由に使えるお金はどのくらいですか。(1つに) n=110

1. 5000円未満 3.6	2. 5000円~1万円未満 17.3	3. 1~2万円未満 19.1
4. 2~4万円未満 46.4	4. 4~6万円未満 12.7	5. 6万円以上 0.9

問26. あなたは食費にお金をかけるほうですか。(1つに) n=110

1. そう思う 13.6	2. どちらかといえばそう思う 35.5	
3. どちらかといえばそう思わない 29.1	4. そう思わない 20.0	無回答 1.8

問27. 部活・サークル活動にはどのくらい参加していますか。(1つに) n=110

1. 週に5回以上 2.7	2. 週に3~4回 15.5	3. 週に1~2回 36.4
4. 週に1回未満 18.2	5. 何も所属していない 問30へ 27.3	

問28. 部活・サークルの仲間とは一緒に行動しますか。(1つに) n=80

1. よく一緒にいる 45.0	2. どちらかといえば一緒にいる 41.3
3. どちらかといえば一緒にいない 10.0	4. 一緒にはいない 3.8

問29. 部活・サークルの仲間とは一緒に昼食をとりますか。(1つに) n=80

1. よくそうする 42.5	2. どちらかといえばする 21.3
3. どちらかといえばしない 17.5	4. そうしない 18.8

問30. 性別を教えてください。(1つに) n=110

1. 男性 34.5	2. 女性 64.5	無回答 0.9
------------	------------	---------

問31. 世帯状況を教えてください。(1つに) n=110

1. 実家暮らし 37.3	2. 一人暮らし 56.4	3. 寮生活 3.6	4. ルームシェア 0.0	5. その他 2.7
---------------	---------------	------------	---------------	------------

問32. 学年を教えてください。(1つに) n=110

1. 1年生 30.9	2. 2年生 38.2	3. 3年生 21.8	4. 4年生 9.1
-------------	-------------	-------------	------------

問33. 学科を教えてください。(1つに) n=110

1. 広報 90.0	2. 経営情報 5.5	3. 情報システム 4.5
4. 国際理解 0.0	5. 国際観光 0.0	6. 健康栄養 0.0

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。